

## 医学教育における情報リテラシーコースのアンケート調査について

赤間 亮一<sup>1),2)</sup>, 中谷 多哉子<sup>3)</sup>, 村上 祐子<sup>4)</sup>, 辰己 丈夫<sup>3)</sup>

1) 日本歯科大学 2) 放送大学大学院 3) 放送大学 4) 東北大学

akama-r@tky.ndu.ac.jp

## About a questionnaire survey for an information literacy course in medical education

Ryoichi Akama<sup>1),2)</sup>, Takako Nakatani<sup>3)</sup>, Yuko Murakami<sup>4)</sup>, Takeo Tatsumi<sup>3)</sup>

1) The Nippon Dental Univ. 2) The Open University of Japan, The School of Graduate Studies

3) The Open University of Japan 4) Tohoku Univ.

### 概要

医学教育における情報リテラシーコースでは、医療現場で必要とされる ICT スキルの向上が主な講義内容となっている。しかし近年、既存の講義内容では不十分な状況が確認されている。特に、Twitter や Facebook などに代表される SNS の利用者が、不適切な内容をネット上にアップすることによるトラブルが増加しており、大きな社会問題となっている。医療では、患者のプライバシー保護など職業倫理の観点から、これらトラブルの発生防止は最重要課題のひとつである。そこで、既存の講義内容を改善する必要性から、現在の学生を取り巻く状況を把握するため、従来行っている ICT に関するアンケート調査の設問や質問項目の見直しを図り、新規作成したアンケートにて調査を実施した。

◎キーワード 情報リテラシー, アンケート調査, 医学教育

## 1 はじめに

日本歯科大学東京短期大学では、平成 17 年度より情報リテラシーコースを開設し、歯科技工士と歯科衛生士が、歯科医療で必要とされる ICT の知識や技能などの習得度向上を目的とした講義を行っている。そして、学生の ICT 習得度を把握する目的でアンケート調査を実施し、その結果から平成 21 年度にカリキュラムの変更を行った [2]。しかし近年、SNS に端を発したトラブルが社会現象として取り上げられ、連日のように報道されており、あらためてネット上でのマナーが重視されるようになった。以前より、情報リテラシーコースでは ICT スキルだけではなく、情報セキュリティや著作権、肖像権といった内容を講義で取り扱ってきたが、現在は情報倫理に関しても大きく取り上げていく必要性を感じている。そこで今回は、平成 29 年 4 月に実施したアンケート調査の一部ではあるが「インターネットでの著作権や情報倫理」と「職業の情報倫理」への意識、「SNS の利用状況」と「インターネットでのトラブル」についての設問とその結果を中心に報告する。

## 2 アンケート調査について

### 2.1 概要

情報リテラシーコースの講義は、1 回 80 分で全 8 回を日本歯科大学生命歯学部のパソコンルームにて行っている。また、従来は質問紙によるアンケート調査を行っていたが、本年度（2017 年度）より、LMS (Moodle) の機能（フィードバック）を利用した web 形式に調査方法を変更した。アンケート調査は本コースを受講する学生を対象とし、初回講義前に匿名にて実施した。また、本調査は日本歯科大学東京短期大学の倫理審査で許可を得て行っている（倫理審査番号：東短倫-00195）。

### 2.2 調査対象

平成 29 年度に日本歯科大学東京短期大学（以下、本学）へ入学した歯科技工学科 27 名（男性 6 名、女性 21 名）、歯科衛生学科 74 名（すべて女性）の合計 101 名（現役率 92.1 %）を調査対象とした。

### 2.3 設問内容

以下に、アンケート調査の設問内容の一部を示す。なお、質問項目が同じ設問はまとめて表記した。

1. インターネットでの著作権や情報倫理（違法ダウンロードや著作物の無断使用など）について
  - (a) 気をつけている
  - (b) 気にしていない
2. 職業の情報倫理（職務上知り得た患者さんのプライバシーを外部に漏らさない）について
  - (a) 知っていた
  - (b) 知らなかった
3. LINE の利用について
4. Twitter の利用について
5. Instagram の利用について
6. Facebook の利用について
  - (a) よく利用する
  - (b) ときどき利用する
  - (c) ごくまれに利用する
  - (d) 利用していない
7. SNS への 1 日のアップ回数について ※発言（リツイートを含む）、画像のアップなどの投稿 1 回を 1 カウント ※閲覧のみはカウントしない ※LINE などのチャットは除く
  - (a) 10 回以上
  - (b) 7～9 回程度
  - (c) 4～6 回程度
  - (d) 1～3 回程度
  - (e) 0 回
8. インターネットで経験した（被害を受けた）トラブルについて ※複数回答可
  - (a) SNS などでの書き込み炎上
  - (b) 書き込みやメールでの誹謗中傷やいじめ
  - (c) ウィルス感染
  - (d) 個人情報の流出
  - (e) 不当請求（ワンクリック詐欺など）
  - (f) 誘い出しによる性的被害や暴力行為
  - (g) ネット依存による健康被害
  - (h) その他
  - (i) 経験がない

### 3 調査結果と考察

調査結果を以下に示す。なお、アンケート調査の回収率は 100% であった。

#### 3.1 設問 1 と 2

設問 1「インターネットでの著作権や情報倫理について」と設問 2「職業の情報倫理について」の調査結果を図 1 に示す。設問 1 の質問項目への回答は、学生

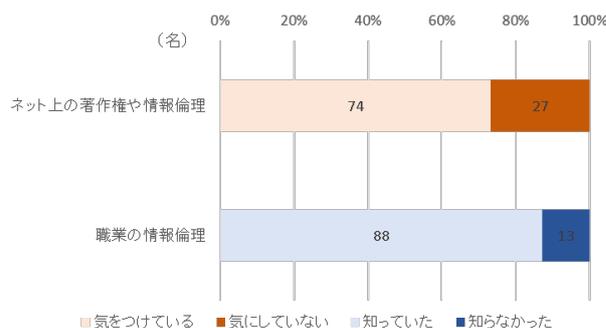


図 1 ネット上の著作権や情報倫理と職業倫理への意識

の主観によるものである。よって、本人が「気をつけている」としても著作権を侵害する場合や、情報倫理を犯している可能性があるということである。結果は「気をつけている」が 73.3%、「気にしていない」が 26.7%となり、約 1/4 の学生が著作権や情報倫理に対しての意識が低かった。

また設問 2 では、入学直後における職業の情報倫理に対する知識の有無を確認した。結果は「知っていた」が 87.1%、「知らなかった」が 12.9%となり、入学前から医療人としての意識を持つ学生が、多数いることが分かった。職業の情報倫理については講義で扱う内容なので、最終的には受講する全ての学生が周知することになる。

#### 3.2 設問 3 から 6

設問 3 から設問 6「SNS の利用状況について」の調査結果を図 2 に示す。わが国で普及している代表的な SNS についての利用の有無と、使用頻度について質問した。各 SNS の利用率は、高い順に LINE (99.0%)、Twitter (92.1%)、Instagram (75.2%)、Facebook (20.8%) となり、昨年と同様の傾向を示した [5]。しかし、これは総務省が公表しているデータとは一致しない [4]。SNS の利用率は単純に世代別という括りではなく、年度毎で区切ってデータを取らなければ、正確な状況を把握できないことを表している。また、使用頻度の高さの順位は、利用率の高さの順位と一致した。

#### 3.3 設問 7

設問 7「SNS への 1 日のアップ回数について」の調査結果を図 3 に示す。1 日アップ回数は、0 回 (37.6%)、1～3 回 (43.6%)、4～6 回 (5.9%)、7～9 回 (3.0%)、10 回以上 (9.9%) となった。情報の収集を目的とした SNS を見るだけのグループ (0 回) と少数回だけアップするグループ (1～3 回)、そして、

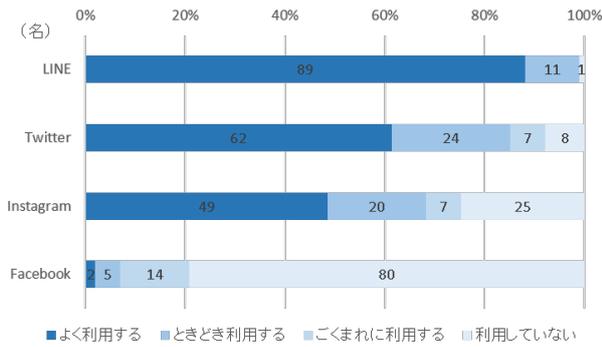


図2 SNS 利用状況

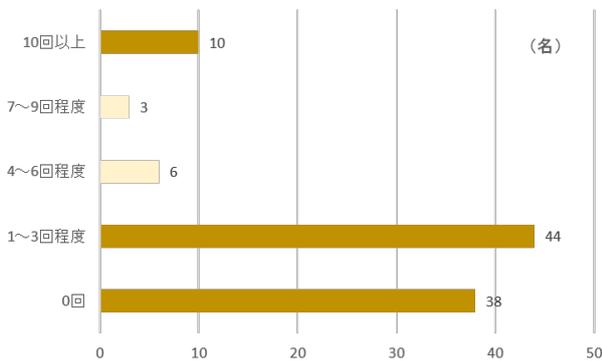


図3 SNS への1日のアップ回数

若干名ではあるが世間一般ではヘビーユーザーというカテゴリに分類されるグループ（10回以上）がそれぞれ突出している。

### 3.4 設問8

設問8「インターネットで経験した（被害を受けた）トラブルについて ※複数回答可」の調査結果を図4に示す。質問項目の具体的なトラブル名は、総務省が公表している「インターネットトラブル事例 解説集」を参考とした [3]。何らかのトラブルを経験した学生は全体の9.9%（複数回答者が1名）であった。本学へ現役で入学した学生の、スマートフォンを持ち始める年齢の平均は14歳である [1]。よって、入学までに4年程度はインターネットを利用しており、その期間中に経験したトラブルということになる。

### 3.5 設問間の関連性について

設問1と設問7との集計結果を図5に示す。また、設問1と設問8との集計結果を図6に、そして、設問7と設問8との集計結果を図7に示した。

今回の報告では設問1、7、8の間に相関関係があると仮定し、クロス集計後、各々の関連性をカイ2乗検定を用いて検定したが有意差は認められなかった。サンプル数が少ないこともあるが、著作権や情報倫理

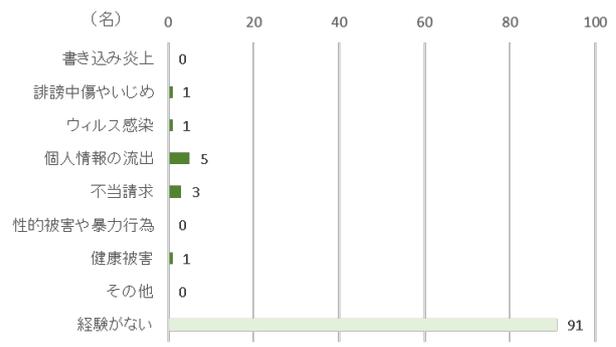


図4 インターネットで経験したトラブル ※複数回答可

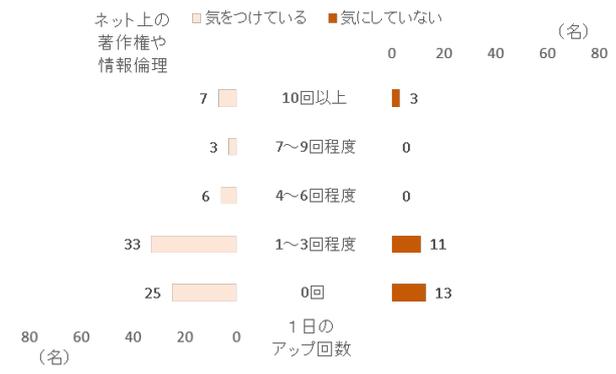


図5 ネット上の著作権や情報倫理とアップ回数との関係

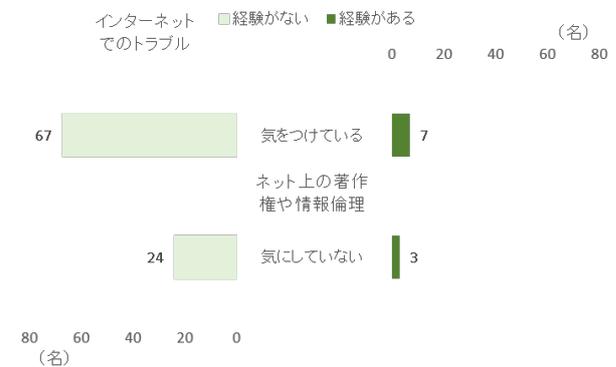


図6 ネット上の著作権や情報倫理とインターネットでのトラブルとの関係

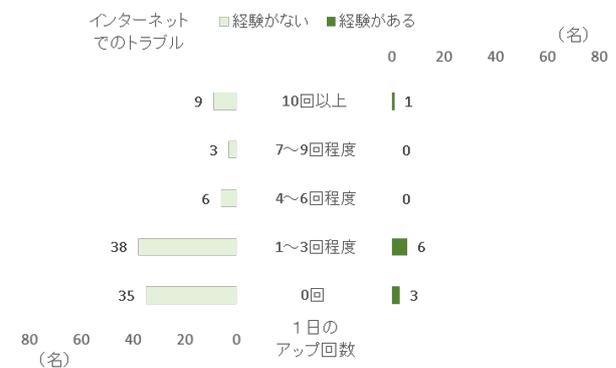


図7 1日のアップ回数とインターネットでのトラブルとの関係

に対する意識の低さや SNS へのアップ回数の多さは、インターネットでのトラブルに直接影響するとはいえなかった。また、今回のアンケート調査では、トラブルを経験した経緯やシチュエーションまでは質問項目に入れておらず、どのような状況でトラブルに遭遇したのかというところまで調査する必要があると感じた。

#### 4 まとめ

今回は、著作権や情報倫理、SNS の利用状況、インターネットでのトラブルとその関連性を取り上げた。新たな時代のコミュニケーションツールとして台頭してきた SNS は、情報の伝達や交換という点では非常に便利であるが、利用者の未熟な部分に対してフォローするような機能はなく、そのアップする内容に対して、大きな責任を負っていることをユーザーが認識していない場合でも、容易に利用できてしまうことに問題があると考えられる。医療に限ったことではないが「職務上知り得た情報は外部に漏らさない」といった職業の情報倫理は、周知徹底する必要がある。医療では患者のプライバシーを守るためにも大変重要なものである。情報リテラシーコースでは ICT に関連した講義内容がその大半を占めるため、情報倫理に対する教育の場としてうってつけのコース（科目）である。時代の流れを鑑みると、情報倫理に重きをおく講義内容へシフトさせる方が、より効果的にトラブルを防止できるのではないかと推察している。また、このようなアンケート調査の実施は、学生に ICT の利用について自分を振り返る機会を与え、注意喚起の効果もあると考えている。

アンケート調査の方法については、従来は質問紙形式で行っていたが、今回から web 形式での調査方法に変更した。web 形式の採用については、本学への LMS の導入が大きな要因ではあるが、質問紙形式では実現が困難で便利な機能がいくつかある。まず最初に感じたメリットは、データの集計が格段に速く正確であるということである。まさにリアルタイムであり、調査中も集計の web ページをリロードすることにより、回答の進捗状況を随時確認することができた。そして、回答の違いにより、以降の設問を条件分岐させられる点も素晴らしい機能の一つである。さらに「必須回答」のオプションを有効にすることにより、未回答を防ぐことができる点も、質問紙には無い利点である。また、欠点に関しては今回利用した範囲では見当たらず、今後も積極的に活用する方向で考えている。

#### 参考文献

- [1] リクルート進学総研. 高校生の WEB 利用状況の実態把握調査 2013, 2013. [http://souken.shingakunet.com/research/2013\\_smartphonesns.pdf](http://souken.shingakunet.com/research/2013_smartphonesns.pdf) (2017/6/13 アクセス).
- [2] 岩田健悟, 赤間亮一, 他 4 名. 歯科医学教育における情報リテラシー・コースに対する学生の反応-歯科技工士・歯科衛生士編-. 日本歯科大学東京短期大学雑誌, No. 2-2, pp. 92-98, 2013.
- [3] 総務省. インターネットトラブル事例 解説集, 2009. [http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho-tsusin/kyouiku\\_joho-ka/pdf/1-1.b.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho-tsusin/kyouiku_joho-ka/pdf/1-1.b.pdf) (2017/1/27 アクセス).
- [4] 総務省. 平成 27 年版情報通信白書 SNS の利用率, 2017. <http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h27/html/nc242220.html> (2017/6/13 アクセス).
- [5] 赤間亮一, 辰己丈夫, 他 2 名. 情報リテラシーコースにおけるアンケート調査の考察. AXIES2016 論文集, 2016. <https://drive.google.com/a/ndu.ac.jp/file/d/0B4FSZg88BNhuWU1UGlQeVltTHM/view?usp=sharing>.